

令和7年度 御坂東小学校学校経営について

校長 小林 千由紀

1 学校教育目標

「豊かな心をもち、自ら学ぶたくましい児童の育成」

＜具体的目標＞

- | | |
|--------------------------------|---------|
| ○確かな学力を身につけさせる。 | （自ら学ぶ） |
| ・基礎的、基本的な学力の確実な定着を図る。 | |
| ・個に応じた指導法を工夫し、個々の学力の伸長を図る。 | |
| ・自ら考え自ら学ぶ意欲を育てる。 | |
| ○豊かな感性と思いやりの心を育てる。 | （豊かな心） |
| ・互いに尊重し合い、協力し合う心を育てる。 | |
| ・教育活動を通して豊かな表現力を育てる。 | |
| ・自然や文化芸術活動等の体験活動を通して豊かな感性を育てる。 | |
| ○生命を尊重し進んで心身を鍛える態度を育てる。 | （たくましい） |
| ・命の尊さを知り、きまりを守る態度を育てる。 | |
| ・困難なことにも進んで立ち向かう強い心身を育てる。 | |

確かな学力（知育）豊かな感性と思いやりの心（徳育）心身の健康（体育）を
バランスよく身につけた児童の育成を目指していきます。

2 めざす子ども像

【 かしこく・なかよく・いきいきと 】

- | |
|---------------------|
| ○自ら学び、よく考え、工夫する子ども |
| ○豊かな感性や思いやりの心をもつ子ども |
| ○健康で、進んで体力づくりに励む子ども |

3 基本方針

学習指導要領並びに山梨県学校教育指導指針、笛吹市教育ビジョンの趣旨を踏まえ、指導計画の改善と充実に努め、学校教育目標『豊かな心をもち、自ら学ぶたくましい児童の育成』と、めざす子ども像『かしこく・なかよく・いきいきと』の実現に向けて、次の5点を重点として御坂東小学校の教育を推進していきます。

（１）一人ひとりの子どもに「確かな学力」を身につけさせていきます。

どのクラス（学年）においても一人ひとりの学力・学習状況をしっかりと把握するとともに、ＩＣＴを活用するなどして、わかる授業、楽しい授業を展開していきます。また、個に応じたきめ細かな指導を展開し、基礎・基本の確実な習得と思考力・判断力・表現力を育成するための指導の工夫に努めていきます。さらに、子どもたちの良い点を積極的に評価することで自己肯定感を醸成し、学ぶ意欲の向上に努めるとともに、家庭学習の習慣化を図り、児童の主体的な学びを支えていきます。

（２）豊かな感性と思いやりの心を育てていきます。

ほめて育てることを基本に一人ひとりの子どもの良さを引き出す指導を工夫し、教師と子ども、子ども相互の信頼関係づくりを図っていきます。また、適切な児童理解や心の居場所づくりに努め、望ましい集団活動を通して心の触れ合いを深め、いじめや不登校、暴力行為等のない楽しい学校生活の実現に努めます。さらに、命を大切にすることや思いやりの心を育てるために道德教育の充実にも努めます。

（３）子どもたちの心身を鍛えていきます。

体力づくりなど運動の日常化を図り、自ら進んで体力の向上を図る指導の充実にも努めていきます。また、「早寝・早起き・朝ご飯」や「家庭の健康法」など、家庭との連携をもとに健康で望ましい生活習慣の定着や生涯を通じて健康で安全な生活を送ることができる実践力を育てていきます。

（４）清潔で安心・安全な学校環境の整備を進めます。

校舎内外や教室の日常的な環境美化に努めるとともに、学校安全計画及び防災・防犯等の危機管理マニュアルの改善・充実と、それに基づく安全管理体制の整備に努めます。

（５）家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを推進していきます。

家庭との連絡を密に取り、心の通う生徒指導に努めます。子どもや保護者の気持ちを理解し、子どもに寄り添った指導を心がけるとともに、保護者・地域住民には、誠実な態度（言動）で接していきます。また、ＰＴＡ活動などを通じて家庭や地域と連携し、積極的な交流の促進と地域の教育力の活用を図っていきます。さらに、日常的な学校開放を推進し、学校・家庭・地域の相互理解に努めるとともに学校運営等の情報を迅速・的確に提供していきます。

以上の５点の取組を重点として、学校教育目標の実現を図り、かけがえのない子どもたち一人ひとりに『生きる力』をはぐくみ、成就感と充実感に満ちた楽しい生活を送ることができる、地域に根ざした信頼される御坂東小学校の実現に尽力していきます。